

令和3年度 岡山市子ども・子育て会議 第1回放課後児童クラブ部会
(議事録/要約)

日時：令和4年3月17日(木) 午後3時09分～午後4時03分

場所：岡山市勤労者福祉センター5階中会議室

開会

- ・ 部会長挨拶
- ・ 岡山っ子育成局次長挨拶
- ・ 成立確認・・・委員7名中4名出席にて過半数を充足し、成立を確認。

議事

議事進行は部会長

(1) 市立クラブへの移行状況について

[事務局から資料1に沿って説明]

○部会長 令和3年度までに43クラブが市の方へ移行し、令和4年度から移行するのが25クラブということか。

○事務局 そのとおり。

○部会長 それで、3クラブが統合し、合計で66クラブになるということ。あと19クラブが残るとということか。

○事務局 そのとおり。

○部会長 19クラブについて何か補足することはあるか。

○事務局 全体の分母が87クラブで、19のクラブが令和4年度はそのまま単独運営ということになる。どうして移行しないかという理由について、個々にお尋ねしたところ、幾つか理由が共通したものがあつた。例えばそこで働いている職員の一部の方の給料が市の処遇よりも高いとか、あるいは開所の時間がもう少し長いほうがいいのか、クラブでやっている行事や手作りおやつにも制限がかかるとか、そういった理由が主な理由ということでお聞きはしている。

ただ、19クラブが全て今後移行してこないのかというと、昨

年、令和4年度に移ろうかなということで一旦申請されたクラブもあるが、どうしても人のやりくりが難しいということで一旦取下げをされているクラブもあった。

移行期間中の3年間については、その人員の配置についても弾力的な扱いということで、クラスのような概念で、支援単位というのが児童クラブにあるが、人を預かる場合は、その支援単位に2人職員を配置していただくようにしている。そのうちの1人は支援員の資格を持った方を必ず配置していただく。もう一人については資格を持たない補助員という職員になるが、そういった職員で結構ですということでお示しをしている。どうしても正規の職員の確保が難しい場合は、パートタイムだけでもいいですよというような弾力的な扱いを、その3年間だけは、そろっていなくても移行できるという扱いにしていた。そして移行後に、例えば人事異動であるとかその後の採用によって基準に段階的にそろえていくというふうなことで進めている。

そういったことも含めて、全クラブには説明等をした上での移行の対応ということでさせていただき、その結果として、現状でいくと19クラブが単独運営を選択されているという状況である。

- 部会長 他に何か補足があるか。
- 委員 入ってくるクラブが来年度以降もあれば、お話を聞きながら市と一緒に進めていきたいと思っている。
- 部会長 大事なことは希望する子供たちをちゃんと預かっていただけるとかどうかという、その状態が維持できるということが大事。そういう意味で、本当に岡山市は全国に先駆けて、ふれあい公社のほうで運営をしよう。私も本当に指導員の方がすごく待遇がよくなる感じはするんですけど、それぞれ個別の事情もありだということで、全員が一気にはならなかったということ。
- 事務局 1つ補足をさせていただくと、市立のクラブに移行されな

い、来年度以降も運営委員会方式を継続されるクラブに対しては、これまでどおり、引き続き岡山市からの補助金による運営支援を行っていくということで、そちらを継続していく。

○部会長 どの園にも補助金はその基準に合わせて市の何か規定があるのか。

○事務局 補助金の交付要綱に沿って、交付していくということになる。

○委員 人員というのが集まらないというのが結構大きな理由だと思うが、人員を集めるのに何か市のほうからの働きかけのようなものがあるのか。

○事務局 人員の確保というのは、市立移行が始まる前から各運営委員会でも課題ではあった。人員確保は、それぞれで対応されていたということで、例えば市街地と周辺部だと、環境も違ったりして苦勞の度合いも違うと思うが、市立クラブができてからということになると、ふれあい公社と協力しながらスタッフの就職相談会というのを開いたり、市のホームページ、こちらには先ほどの運営委員会のクラブ、それから保育所等ということで保育所とか認定こども園がやっているクラブも5つあるが、そういったクラブも含めて、求人しているところがあれば、そういった情報を全て載せて見れるようにはしている。

また、移行に伴って人員がもう少し必要だということについては、個別に相談に乗りながら、例えばハローワークに登録するのももちろんだが、そのほかに、例えば費用がかかるが、民間の媒体を使って求人を出してみたらというような働きかけも行っているが、思うように集まらないところも結構あり、ここは継続的に取り組んでいく必要があるというふうには考えている。

○部会長 ほかにはご質問はありませんか。

○委員 令和4年度移行決定クラブの中の※印のついてるところは、恐らく義務教育学校になるに従って、それぞれの小学校が一つになる。これは大変だと思う。結構違う地域の子供たちが集ま

り、それぞれの学童保育が違った形式でやってきたものが1つになるというのは大変じゃないかなと思うがどうか。

○事務局 おっしゃるように簡単にいかないというところはあり、義務教育学校をつくるに当たって、地元が設立準備会という、地元の連合町内会長等を中心にそういった任意の団体ができ、そういう流れで児童クラブのほうも、もともとの太伯や幸島、朝日という、そこの支援員さんたちも加わり、事前にいろいろ協議を重ねながら準備を進めてきたところである。

したがって、いろいろご苦労はあったと思うが、建物も新しく整備し、今月の19日が引っ越しだが、きちんと4月1日から開けるように、地元の方に頑張ってもらって準備を進めてきて、予定どおり進んでいる。

○委員 これから子供が少なくなる。そういうところがひよっとしたら増えてくるのかなと思った。

○部会長 スクールバスで帰られるのか。お迎えにお母さんがそこへ行かれるのか。両方か。

○事務局 まず、義務教育学校は4つの小学校区が統合するので、学区自体が広がるため、これは教育委員会の所管になる事業になるが、スクールバスが運行される。朝、登校の際には徒歩圏内の子供さんは徒歩で通う方もおられるが、場所によってはスクールバスを利用して、何系統か多分ルートがあるが、それで皆さん通ってこられる。帰りはスクールバスがまた帰りの運行をするが、児童クラブを利用されるお子さんは、スクールバスも本数が限られており、その最後の便なんかに乗っても、今度そこから先1人で帰ると道中どうなのかというところもあるため、今までその3つの学区についてはお迎えが多かったと思う。

そのため、基本的にはスクールバスを利用して帰るというよりは、児童クラブのお子さんは保護者の方がお迎えに来られるというふうなルールで運用している。

○部会長 冬場は特に暗くなる。しかし、大変なご苦労があったような

気がする。結局、指導員の人数が、4クラブが1つになるという事は、定数が変わるのではないか。

○事務局 4つの小学校と言いながら、児童クラブ自体はその4つの小学校のうち、大宮学区は児童クラブがもともとなかったため、児童クラブは3つが1つになるというイメージである。そういう意味でいうと、メリットとしては、市内で唯一学区の中に児童クラブがなかった大宮が統合することによって大宮の子供さんも児童クラブを利用できるということで、児童クラブがない学区が解消されるという側面もある。

○部会長 それはよかった。

○事務局 統合ということで、会長がおっしゃったように、水準は一定でも、いろんなやり方とか、そういうすり合わせが必要だと思う。それが今全て解消しているわけでもなく、むしろ4月1日以降やりながら合わせていくような、そういったこともあると思うため、当初からいろいろ試行錯誤はあると思うが、現場の方はそこをととても頑張るといふか、張り切っておられるため、建物も新しくなり、本当に木造のいいのが建っているんで、それで士気も高まっているところである。

○部会長 よろしいか。それでは次の市立クラブの保護者アンケートの結果についてお願いします。

(2) 市立クラブの保護者アンケート結果について

[事務局から資料2に沿って説明]

○部会長 アンケートのため本音はかなり出ているなという感じも受けた。預かっていたいただいているということで、保護者の方もありがたいという思いの反面、世の中の状況が随分変わってきている。変わってきているから、その預かり方への注文も増えてくるのではないかなという気もする。

○委員 質問ではないが、商工会議所に経営者がたくさんおり、その

職員の方のお子さんとか、たくさん預かっていただいている方が多いが、こういうコロナ禍の中で保育園同様、ずっと運営をされていて本当に助かったという、そっちが閉められたら職員の方もお休みしないといけないという中で、人数を確保するためにも、すごく助かったという話を聞いたので、感謝申し上げます。

○事務局 ありがとうございます。放課後児童クラブについては、おっしゃったように、保育園と同様に原則開くということで対応させていただいている。本当に現場では消毒とか換気とか、そういった感染防止対策に本当に神経を使いながら、なおかつ支援員も自分が感染する、そういったおそれもありながらの対応にとっても努力していただいております、特に今回、令和3年度のアンケート結果ということだが、令和2年度があつて令和3年度、その経験が生きている部分もあるが、本当に令和2年度当初はご苦労されたというふうに、私も現場に行つて直接伺つたりして、お声を聞いた。

そういう中で、市からも、例えばアルコールとか、当初令和2年度は手に入りにくかったが、クラブへお渡ししながら、あとは国や県から来る情報もお伝えして支えてきたような状況でもあつた。

とはいえ、本当に市立クラブをはじめ、運営委員会、どこのクラブもそれぞれ現場で一生懸命やっけていただいております、それが今、第6波はものすごく感染者が、小学生も多かったが、児童クラブはそういった対応もしていたため、すごく混乱することはなく、一定程度感染というのは出たが、大事にならずに済んでいるのも現場の皆さんあつてのことだというふうに考えている。

そういう意味では、預ける保護者さんも、預かってもらえるから仕事ができるとか、割とコロナに対しては、このアンケートにもあるように、感謝のお言葉をいただいているところである。

○委員 本当にそうだと思う。皆さん一人一人スタッフの方も気をつ

けて、神経を使って、とても大変だったと思う。本当にありがとうございました。

○部会長 他にありますか。

○委員 いつも思うが、保護者の方のアンケートをよく取られているが、支援員さんがここでもう何年か移行されたところもあり、支援員さんのアンケートというようなものは取らないのか。

○事務局 支援員それぞれの思いというのは、もちろんあると思う。それについては、例えば市立クラブであれば、個別に面接したりということで声をお聞きしているというふうに聞いている。一方で、運営の部分になるが、我々も職員がどう思っているのかというのは気になるところもある。実際、移行の目的としては事務の負担軽減もあるため、移行後、そういったものが現場としてはどういうふう感じられているのか、気になるところを中心に、定期的にといいか、そんなに頻繁ではないが、ふれあい公社を通じてクラブの意見を聞いていただいたものをこちらもいただいている。

そういう中で、支援員としては何がよかったかというところでいくと、今まで運営委員会というのはそれぞれ個々でやっていたため、いろんな悩みがあっても、その中でしか話し合われなかったことが、移行してくると、例えば相談する先として、ふれあい公社の事務局、あるいは事務局で判断に迷えば事務局から市のほうに相談するという、相談体制があり、とても心強いと聞いている。事務的な負担軽減もあるが、精神的な負担軽減にもなったというお声も聞いている。あるいは平準化のルールを定めており、ルールに従ってやっているということで保護者の方に説明しやすくなったとか、そういったこともお聞きしているところである。

また、移行当初は今までとやり方が変わってくるため、そこは戸惑っているというような声も率直なところとして伺っている。ただ、一定の時間を置くと、そういう声も下がってきてお

り、やはり慣れの部分もあるのかなというふうにも感じている。

○委員 それぞれに違うところが違う形のものを買ってきているので、私たちからしてみれば、こういう形でやってくださいというようなお願いというのは、とても何か難しいものがあるのかなと思ったり、時々今聞くのは、例えば物品が今欲しいというときに、申し出て手続きをして、それから後じゃないと来ないという、今までであれば自分のところでやっていたので、すぐ来るという、そここのところが困るんだということはお聞きしている。

○委員 日用品や消耗品というのは、計画的に購入するほうが効率もよく、金額も抑えられて、同時に一括で買えるため、計画を立てて早め早めに言っていただけたらよい。基本的に日用品というのは、消毒液とか、そういうものであれば、すぐ持ってきていただけるようなところもある。掛け売りをしていただけたところもあるため、そういうところに早めに計画を立ててやりましょうという声をかけながらやっている。

○委員 よろしく願います。

○委員 基本的には、大きいところは大方ルールに慣れてくる。それに満足するということはないだろうが。

○委員 何年か経って、どういうものがどのあたりで要するというのが分かってくると、計画は立てられるかもしれない。

○委員 最初に、「こういうところと今契約をしていて、こういうお店はこういうものを扱っていて買えますよ」というのをお出ししており、今はそれぞれでよく買っているお店を登録し、通常どおりなるべく買えるようにというところで調整をしているところである。

○委員 よろしく願います。

○委員 職員や仕事、そういう児童クラブの運営面での調査は市の方が取っているが、職員の働き方というか、ストレスも含めてというところの職員アンケートというのは、ふれあい公社全体と

して職員へストレスチェックであるとか、職員アンケートのようなものも取っているため、反映させていただきたいと思っている。

○委員 施設の安全性についてということだが、古い施設との差があると、それから老朽化しており災害発生時に大丈夫かというのが不安だというふうにおっしゃっている方もいる。古い施設というのを、予算もあると思うが、今後はどのような対策を取っていくのか。

○事務局 まず、施設については、運営委員会のクラブ、それから市立クラブでも、例えば建物を建てるなら市が建てて、それをクラブが使っているという状況である。それ以外にこういったものがあるかということ、学校の校舎の中で余裕教室をお借りしたり、あるいは学校の校舎を建てる時に、あらかじめここは児童クラブで使うという想定で建てているようなところとか、いろんなパターンがあるが、そういう中で老朽化という部分、これはちょうど令和2年度に個別施設計画という、市の中で計画を立てなさいというのがありまして、児童クラブの施設についても個別に耐用年数をどこで設定して、どういう整備で計画的にやっていくかというのを定めた。

当初は、専用施設であればプレハブで造っており、プレハブの耐用年数は30年という、それから今は木造で整備していますが、木造は60年という、それが基本的な耐用年数ということでやっている。耐用年数を基に、クラブも古いものと昭和の時代のものもあるが、当然そういうのは整備の対象になるため、そういう老朽化と、あとは先ほど言ったクラブの学区のニーズが増えてきており、今のキャパでは賄い切れないということであれば、どうしても建物を建てないといけない場合もある。そういう両面で整備の計画を立てて進めているところである。

そのため、古い建物をずっと放置しているということではなく、クラブの状況で、その時に古いものがあるとご心配いただ

いている部分があるとは思う。ただ一方で、古い順にできているのかというと、現実的にはなかなか難しいところがある。今の学校でいうと35人学級の導入というのもあり、まず学校の教室自体が空いている学校が少なくなってきたおり、お借りしようと思っても難しかったり、特別支援学級、そういったものも増えてきたりということで、学校の校舎を使ってというのがなかなか難しい状況になりつつあるというのが1点と、学校の敷地も限られているため、敷地をお借りして、そこに建物を建てるということであっても、場所がなかなか調整が付きづらいというようなところで、施設整備が思うようにいかない部分もある。

しかし、当課の担当もそこは状況を確認しながら、地元の調整あるいは学校との調整も図って、なるべく必要なところから整備ができるように進めているところである。

少し長くなるが、建物自体は1年で建つものではなく、設計してから建つまでに大体2年ぐらいかかる。そのため、今必要だからすぐ建てたいが、出来上がってというのは2年かかるということで、今動いているのだと令和2年度から令和3年度で取り組んでいるものと、令和3年度から令和4年度にかけてということで、2か年計画で順次計画的にやっている

- 部会長 非常に難しい。建物は文科省からお金が来るのか。
- 事務局 建物の整備の交付金は内閣府になる。
- 部会長 学校の敷地へプレハブを建てるのは許可をもらうのか。
- 事務局 学校側とも調整をさせていただき、場合によっては学校の敷地のすぐ外が民家であれば、周辺の地域の方ともお話しし、そこをご理解いただけるか、いただけないかというところもあり、いろんな細かい調整が必要にはなってくる。
- 部会長 それはある。本当に大事な施設なのだが。文科省も重要視しているのだろうが、どうもその辺が一貫してない感じがする。もっと補助金をしっかり出して建て替えたらいいのだが。どちらかというと、教室のほうを先にやって、児童クラブはプレハブ

というような対応で、ずっとこれまでやってきた感じがする。そのため、トイレが足りないといった声も出ているようだが、これも学校のトイレを利用するところと、クラブで造るところがあり、放課後になるから校舎内に入りにくいという学校もあれば、学校の外にトイレがあるところとか、事情がそれぞれ違うから、トイレの数もクラブによって事情が変わるわけだな。

○委員　　市立になり、今までなかなか声に出しにくかったクラブも、こういうトイレがちょっと暗い、夕方になったら暗くなってしまふとか、ここの電球が切れてというようなことも、事務局ができたため、事務局のほうに申し出ていただいて、必要なことであれば市にもお願いし、双方で相談しながら、少しずつではあるが、改善しているところである。

新しい施設も、これから建てていただけたところもあるため、現場の職員の使い勝手のいいものを意見として取り入れていただけたらなというところで、1人当たりおおむね1.65㎡以上と決まっているが、それを有効的に使えるような、例えば教室の中には職員が事務をするスペースとか、冷蔵庫やキッチンを置くようになるため、そういうものも使い勝手のいいところを考えながら、いい施設を建てて、子供たちも職員も安全で安心できるようなものができていったらいいなと思っているところである。

○部会長　　大体時間が来てきているが、よろしいか。
それでは、以上で部会を終わる。

閉会